

有限会社 だいご
代表取締役

北野 和信

1977年に創業した飲食店を営む家に生まれ、幼い頃から現場を見て育つ。プロスノーボーダーを目指した後、23歳で飲食業界へ進み、25歳で家業に入る。専務として現場・経営両面の経験を積み、2019年、38歳で先代の父から事業を引き継ぎ、代表取締役に就任。現在は5店舗を運営し、60名近くの従業員を率いている。

従業員が働きがいを持てる会社を築き老舗企業に発展をもたらす若き経営者

(有) だいごは、小田原の地で40年以上にわたって愛される焼き鳥店やホルモン店を手掛ける老舗企業だ。2019年より先代から事業を引き継いだ、2代目社長・北野和信氏の経営哲学について、自身も父親と同じ道を歩んできた俳優の宍戸開さんが話を伺った。

Guest Comment>>



宍戸 開 (俳優)

北野社長の人生理念に加える言葉は、私は「ユーモア」も良いのではないかと思います。楽しさを表に出すのは、従業員同士が真に仲良くないといけないこと。その点、40年以上の歴史があり皆さんの絆が深い「だいご」さんなら、遊び心も加わった魅力的なお店づくりをされていくだろうと感じます。今後規模を大きくされても、変わらずあつち続けてください。

幼い頃から共にあった家業の道へ

宍戸 (有) だいごさんは、北野社長のお父さんが創業されたそうですね。

北野 はい。食肉業界で勤めていた父が1977年、26歳のときに独立し、本店・もつ店・小売店を立ち上げたのが始まりです。その後、当社を設立し、現在は焼き鳥店やラーメン店も展開しています。

私が生まれた頃にはすでに父は店に立っており、私もおしゃぶりではなく豚足をしゃぶっていたなんていうエピソードがあるくらいです(笑)。幼い頃から、ずっと店を手伝っていました。

宍戸 社長はもともと家業を継がれることを意識されていたのでしょうか？

北野 長男なので、母にはずっと「あな

たが社長になる」と言われていました。ただ、私自身は家業に入ることをすんなり受け入れられなくて…。実は、高校の頃にスノーボードにのめり込み、父に黙って学校を辞め、プロを目指して北海道に修業に行っていた時期がありました。大会にも出場していたのですが、結局は23歳で挫折。そのときに、「きちんと家業を継ごう」と心に決めたのです。そして、東京都内の焼き鳥店で飲食の基礎を学び、25歳で当社に入社しました。宍戸 紆余曲折があったのですね。いざ入社されてみて、いかがでしたか？

北野 当時は父も経営を頑張っていたものの、対して、従業員たちが情熱を持って働いているようには正直見えませんでした。そこで、自分が引き継ぐにあつ

ては、みんながもっとやりがいや生きがいを持って働けるよう、人材教育や職場環境に重きを置こうと考えたのです。

みんながやりがいを持てる職場づくり

宍戸 働き方については、日本社会全体で見直されている点ですね。

北野 ええ。私は、働く目的は2軸あると考えています。1つが、収入のための経済軸。もう1つが、やりがいや生きがいに通じる自己実現軸です。収入は大事ですが、それだけではなく、自己実現を果たした結果として、お金を得られるほうが幸福ではないか。そして、従業員の求める目的と、会社の方向性をできる限り近付けていくのが経営者の役目ではないか——。そう考え、専務時代から人を大切にする経営を貫いてきました。

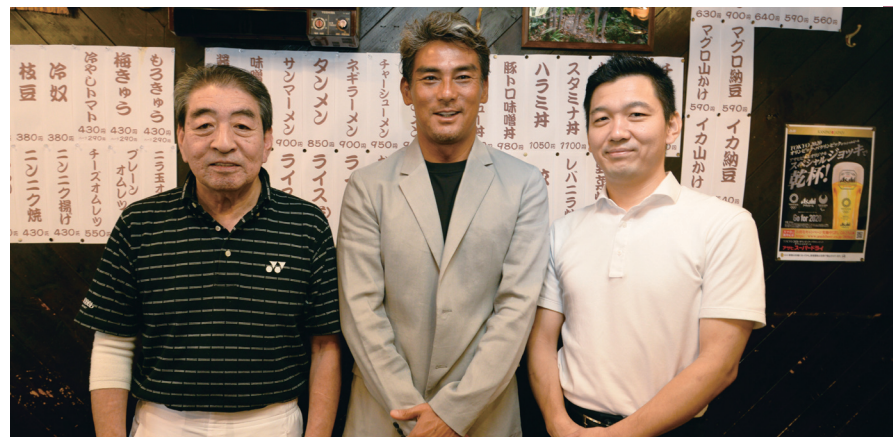
宍戸 具体的には、どのような取り組みをされているのですか？

北野 待遇面では人事評価制度をつくり、仕事の能力に加え、良好な人間関係が築けるかどうかなども評価しています。この仕事はチームワークが重要ですから、社員には個人面談を行い、店舗内でいざこざが起こったら話し合いの場を設けるなど、より良い職場環境をみんなで構築しているんです。加えて、福利厚生も充実させています。飲食業界は労働環境が問題にされがちですので、当社をきっかけに、魅力的な職場環境を発信していけたらと考えているんです。

宍戸 ところで、私も社長のように父親



▲北野和信社長に加え、先代である北野和夫会長にも話を伺う宍戸さん



と同じ道に進んだので、若い頃は親子で比べられることに抵抗もありました。きっと社長も、2代目ゆえの苦勞を抱かれてきたことと思います。

北野 確かに、昔は周囲の声が気になった時期もありましたが、次第にそうした状況への反発心はなくなりましたね。また、2019年の社長就任以降は、経営者として父が背負ってきた重責を実感できるようにもなりました。ここまで会社を育ててもらったことへの感謝もありますから、ゆくゆくは何かしらの形で恩返しができたらと思っていますよ。

存続、そして発展へ向けた挑戦

宍戸 では、今後の展開についてはいかがお考えでしょうか？

北野 今までは会社内の改革に注力してきましたが、この先は外側の変革にも乗り出していきます。特に、店舗展開は自分にとって未経験のステージ。父のやり

方を見習いつつ進めていきたいですね。

宍戸 新しい店舗の具体的なイメージがあれば、ぜひお聞かせください。

北野 今は大衆向けの店が中心なので、今後は上質志向の店も打ち出し、顧客の層を広げていきたいと考えています。また、都内にも進出したいですね。

当社には「お客様の気持ちに寄り添い、日々の生活の充実に貢献すること」という経営理念があります。一口に「生活の充実」と言っても、その中身はお客様の層によって異なりますから、ターゲットを絞った店舗展開が大切なのです。

宍戸 ちなみに、ホームページに「愛、情熱、本気、責任」という社長の人生理念が載っていて、素敵だと思いました。人生を見据えてもう1つ要素を加えたとしたら、どんな言葉を選ばれますか？

北野 「挑戦」ですね。時代に合わせて積極的に新しい動きをしていくことが、中小企業が生き抜いていく道。そう考え、これからも挑戦を続けてまいります。

Company Data>>

有限会社 だいご

〒250-0001

神奈川県小田原市扇町 1-12-27

URL <https://www.e-daigo.co.jp/>